

講義名:	セルフマネジメントⅡ-①	講義時間数: 79時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 5単位	学年: 2年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	数的推理Ⅱ-①	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。			
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	場合の数・確率①			
2回目	場合の数・確率②			
3回目	場合の数・確率③			
4回目	場合の数・確率④			
5回目	場合の数・確率⑤			
6回目	場合の数・確率⑥			
7回目	場合の数・確率⑦			
8回目	場合の数・確率⑧			
9回目	場合の数・確率⑨			
10回目	場合の数・確率⑩			
11回目	損益算①			
12回目	損益算②			
13回目	損益算③			
14回目	損益算④			
15回目	単位認定対策			
16回目	単位認定試験			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	数的推理Ⅱ-②	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 3単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。 1年次から学んできた単元の総復習を行う。			
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	演習プリント(アラカルト)		17回目	演習プリント(アラカルト)
2回目	演習プリント(アラカルト)		18回目	演習プリント(アラカルト)
3回目	演習プリント(アラカルト)		19回目	演習プリント(アラカルト)
4回目	演習プリント(アラカルト)		20回目	演習プリント(アラカルト)
5回目	演習プリント(アラカルト)		21回目	演習プリント(アラカルト)
6回目	演習プリント(アラカルト)		22回目	単位認定対策
7回目	演習プリント(アラカルト)		23回目	単位認定試験
8回目	演習プリント(アラカルト)		24回目	
9回目	演習プリント(アラカルト)		25回目	
10回目	演習プリント(アラカルト)		26回目	
11回目	演習プリント(アラカルト)		27回目	
12回目	演習プリント(アラカルト)		28回目	
13回目	演習プリント(アラカルト)		29回目	
14回目	演習プリント(アラカルト)		30回目	
15回目	演習プリント(アラカルト)		31回目	
16回目	演習プリント(アラカルト)		32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	判断推理Ⅱ-①	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える			
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	総合復習	17回目	単位認定試験対策 復習	
2回目	総合復習	18回目	単位認定試験	
3回目	試合と勝敗(リーグ戦)	19回目		
4回目	試合と勝敗(リーグ戦)	20回目		
5回目	試合と勝敗(リーグ戦)	21回目		
6回目	試合と勝敗(リーグ戦)	22回目		
7回目	試合と勝敗(リーグ戦)	23回目		
8回目	試合と勝敗(リーグ戦)	24回目		
9回目	試合と勝敗(トーナメント)	25回目		
10回目	試合と勝敗(トーナメント)	26回目		
11回目	試合と勝敗(トーナメント)	27回目		
12回目	数量推理	28回目		
13回目	数量推理	29回目		
14回目	数量推理	30回目		
15回目	数量推理	31回目		
16回目	数量推理	32回目		
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	判断推理Ⅱ-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える			
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	比較(講義・演習)			
2回目	比較(講義・演習)			
3回目	比較(講義・演習)			
4回目	比較(講義・演習)+確認テスト			
5回目	空間把握(講義・演習)			
6回目	空間把握(講義・演習)			
7回目	空間把握(講義・演習)			
8回目	空間把握(講義・演習)			
9回目	空間把握(講義・演習)+確認テスト			
10回目	総合演習問題			
11回目	総合演習問題			
12回目	総合演習問題			
13回目	総合演習問題			
14回目	総合演習問題			
15回目	単位認定試験 復習			
16回目	単位認定試験			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	政治経済Ⅱ-①	講義時間数:	46時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	小童 望未	単位数:	3単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習			実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	春季課題 確認テスト			17回目	国際経済②
2回目	国際政治①			18回目	国際経済③
3回目	国際政治②			19回目	国際経済④ 確認テスト
4回目	国際政治③			20回目	民主主義①
5回目	国際政治④			21回目	民主主義②
6回目	国際政治⑤			22回目	単位認定試験対策
7回目	国際政治⑥ 確認テスト			23回目	単位認定試験
8回目	政治の諸問題①			24回目	
9回目	政治の諸問題②			25回目	
10回目	政治の諸問題③			26回目	
11回目	政治の諸問題④ 確認テスト			27回目	
12回目	日本経済の発展①			28回目	
13回目	日本経済の発展②			29回目	
14回目	日本経済の発展③			30回目	
15回目	日本経済の発展④ 確認テスト			31回目	
16回目	国際経済①			32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	政治経済Ⅱ-②	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	各国の政治制度①		
2回目	各国の政治制度②		
3回目	各国の政治制度③ 確認テスト		
4回目	復習:基本的人権		
5回目	復習:需給曲線		
6回目	復習:市場経済		
7回目	復習:国会		
8回目	復習:内閣		
9回目	復習:裁判所		
10回目	復習:金融政策		
11回目	復習:財政政策		
12回目	復習:地方自治		
13回目	復習:国際政治		
14回目	復習:政治の諸問題		
15回目	復習:日本経済の発展		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	言語・文章理解Ⅱ	講義時間数: 45時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田 悟	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	実務教育出版社に作文添削を依頼(3回分)		
講義概要:	文章作成の基本的なルールや構造を理解し、一定のクオリティの作文を書くためのテクニックを学ぶ。また、長文読解のコツをつかみ、長文問題で安定して点数をとれるようになる。語彙力を増やすために、熟語・ことわざ等を学ぶ。WEB教材を活用してSPI言語の得点力を上げる。		
到達目標:	文章作成における基本を身に付け、読み手に伝わる文章を作成できるようになる。長文読解の能力を伸ばし、筆者の意図を正確に読み取ることができるようになる。SPI(言語)について基本的な解き方を理解することができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション・語彙カトレーニング第1回	17回目	WEBトレーニング SPI言語分野
2回目	語彙力テスト第1回・語彙カトレーニング第2回・二語の関係	18回目	WEBトレーニング SPI言語分野
3回目	語彙力テスト第2回・語彙カトレーニング第3回・二語の関係	19回目	作文実施
4回目	語彙力テスト第3回・語彙カトレーニング第4回・二語の関係	20回目	WEBトレーニング SPI言語分野 模擬試験
5回目	語彙力テスト第4回・語彙カトレーニング第5回・二語の関係	21回目	WEBトレーニング SPI言語分野 模擬試験
6回目	語彙力テスト第5回・語彙カトレーニング第6回・語句の用法	22回目	読書感想文 作成
7回目	語彙力テスト第6回・語彙カトレーニング第7回・語句の用法	23回目	単位認定試験
8回目	語彙力テスト第7回・語彙カトレーニング第8回・語句の意味	24回目	
9回目	語彙力テスト第8回・語彙カトレーニング第9回・語句の意味	25回目	
10回目	語彙力テスト第9回・語彙カトレーニング第10回・文の並べ替え	26回目	
11回目	語彙力テスト第10回・語彙カトレーニング第11回・文の並べ替え	27回目	
12回目	語彙力テスト第11回・語彙カトレーニング第12回・空欄補充	28回目	
13回目	語彙力テスト第12回・語彙カトレーニング第13回・空欄補充	29回目	
14回目	作文実施	30回目	
15回目	語彙力テスト第13回・語彙カトレーニング第14回・長文読解	31回目	
16回目	語彙力テスト第14回・語彙カトレーニング第15回・長文読解	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント・ライズSPI教材		

講義名:	選択科目AⅡ(人文科学)	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	横田 悟・小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	動画授業を受講。			
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(日本史・世界史・地理)のうち、自身で科目を選択し、動画授業を視聴・学習する。			
到達目標:	公務員試験で出題される人文系科目について学び、解答に必要な知識を身に着ける。 働くうえで必要となる一般教養を身に着け、円滑な業務の一助とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	日本史・世界史・地理の動画授業の中から自由に選択し、学習を進める。			
	必要なレジュメ等は自身で印刷し、自分のPCから授業を受講すること。			
授業教材等:	オリジナルプリント等			

講義名:	選択科目AⅡ(自然科学)	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	動画授業を受講。			
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(物理・化学・生物・地学)のうち、自身で科目を選択し、動画授業を視聴・学習する。			
到達目標:	公務員試験で出題される自然系科目について学び、解答に必要な知識を身に着ける。 働くうえで必要となる一般教養を身に着け、円滑な業務の一助とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	物理・化学・生物・地学の動画授業の中から自由に選択し、学習を進める。			
	必要なレジュメ等は自身で印刷し、自分のPCから授業を受講すること。			
授業教材等:	オリジナルプリント等			

講義名:	選択科目AⅡ(模擬試験)	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	無			
講義概要:	新教養試験やSPI試験の対策として、紙媒体またはeラーニング教材を用いて行う。			
到達目標:	公務員試験において時間管理を徹底し、失敗のリスクを減らす。 模試の結果をもとに、合格までの距離を把握し、学習のモチベーションを高める。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	授業のうち数回は学科一斉での模擬試験を行い、実力を確認する。			
	eラーニング教材を用いて基礎の定着を図る。			
授業教材等:	オリジナル教材等			

講義名:	模擬試験Ⅱ	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志	単位数: 4単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)			
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。			
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)			
	適性試験(120問20分、マークシート方式)			
授業教材等:	公務員試験過去問題集			

講義名:	TKPⅡ-①	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	種村 誠	単位数: 4単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業			
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。			
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	探求活動・業界研究導入		17回目	中期の活動テーマ設定・行動計画
2回目	テーマ設定・行動計画		18回目	中期の活動テーマ設定・行動計画
3回目	フィールドワーク		19回目	中間発表②
4回目	フィールドワーク		20回目	中間発表②
5回目	フィールドワーク		21回目	フィールドワーク
6回目	業界研究・プレゼン資料作成		22回目	フィールドワーク
7回目	業界研究・プレゼン資料作成		23回目	フィールドワーク
8回目	業界研究・プレゼン資料作成		24回目	業界研究・プレゼン資料作成
9回目	中間発表		25回目	業界研究・プレゼン資料作成
10回目	中間発表		26回目	業界研究・プレゼン資料作成
11回目	フィールドワーク		27回目	後期の活動テーマ設定・行動計画
12回目	フィールドワーク		28回目	後期の活動テーマ設定・行動計画
13回目	フィールドワーク		29回目	最終発表
14回目	業界研究・プレゼン資料作成		30回目	最終発表
15回目	業界研究・プレゼン資料作成		31回目	
16回目	業界研究・プレゼン資料作成		32回目	
授業教材等:				

講義名:	一般知能実践(数的推理)Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	全課題プリントの期限内提出をもって単位を認定する。			
講義概要:	単元ごとの過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出する。			
到達目標:	自学自習の学習習慣を身につけさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	数的処理演習問題(場合の数・確率)			
	数的処理演習問題(アラカルト)			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	一般知能実践(判断推理)Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。			
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。			
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	総合演習			
	比較 演習問題			
	試合と勝敗 演習問題			
	空間把握(図形) 演習問題			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	一般知能実践(政治経済)Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:			実務経験者 担当科目
評価:	S＝90点以上、A＝80～89点、B＝70～79点、C＝50～69点、 D＝50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	問題直しができている場合、再提出とする。 期限内に提出、再提出ができない場合は単位取得を不可とする。		
講義概要:	政治経済について、単元ごとに過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	単元ごとに政治経済の過去問や演習型の課題を課す。		
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	学科研修Ⅱ	講義時間数:20時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 通年	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	4/14:自衛隊ガイダンス 4/18:新入生歓迎会 予定			
講義概要:	総合的な対策を随時行う(公務員試験エントリーシート作成、各教科の補足的 content、採用試験受験スケジュールの作成、業界研究、面接対策等)			
到達目標:	採用試験合格に向けて、日々見落としてしまう内容を補い、準備が整った状態で受験を行う。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	自衛隊ガイダンス			
2回目	新入生歓迎会			
3回目	総合公務員試験対策①			
4回目	総合公務員試験対策②			
5回目	総合公務員試験対策③			
6回目	総合公務員試験対策④			
7回目	総合公務員試験対策⑤ (面接)			
8回目	総合公務員試験対策⑥ (面接)			
9回目	総合公務員試験対策⑦ (面接)			
10回目	総合公務員試験対策⑧ (面接)			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:				

講義名:	セルフマネジメントⅡ-②	講義時間数: 43時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	金融リテラシー	講義時間数:	40時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習			実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	金融に関する専門的な知識がない受講者を対象としており、初学者でも理解しやすい内容となっている。講義には、ワークショップやディスカッションを含み、受講者同士の意見交換を促進する。評価は、課題の提出や小テスト、期末レポートを総合的に判断して行う。金融機関や専門家を招いた特別講義を実施する可能性がある。				
講義概要:	金融リテラシーの基礎を学び、日常生活やキャリア形成において必要な金融知識を身につけることを目的とする。貯蓄、投資、クレジット、ローン、税金、年金制度など、個人の資産管理に関する基本的な概念を学ぶとともに、金融トラブルを回避するための判断力を養う。講義では事例研究やグループワークを交え、実践的な理解を深める。				
到達目標:	①金融の基本概念を理解し、自らの資産管理に活用できる、②収入・支出の管理を行い、ライフプランを考えた適切な意思決定ができる、③クレジットやローンの仕組みを理解し、適切に利用できる、④金融詐欺やリスクを認識し、適切に対応できる、といった金融リテラシーを身につけることを目指す。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション			17回目	生活設計・家計管理
2回目	マネジメントゲーム①			18回目	生活設計・家計管理
3回目	マネジメントゲーム②			19回目	資産形成
4回目	マネジメントゲーム③			20回目	資産形成
5回目	マネジメントゲーム④			21回目	
6回目	マネジメントゲーム⑤			22回目	
7回目	有識者講義予定①			23回目	
8回目	有識者講義予定②			24回目	
9回目	有識者講義予定③			25回目	
10回目	有識者講義予定④			26回目	
11回目	ローンクレジット			27回目	
12回目	ローンクレジット			28回目	
13回目	ローンクレジット			29回目	
14回目	金融トラブル			30回目	
15回目	金融トラブル			31回目	
16回目	金融トラブル			32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、外部資料				

講義名:	ビジネス基礎Ⅱ	講義時間数: 50時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 3単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S＝90点以上、A＝80～89点、B＝70～79点、C＝50～69点、 D＝50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	電話実習への参加をもって単位を認定する。			
講義概要:	電話応対の実習、名刺交換や席次、冠婚葬祭など、社会人の基礎マナーを身に付ける。			
到達目標:	社会人として必要な一般常識や、社会生活を送るうえで知っておくべき基本的な知識を身に付ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション、敬語の基礎知識		17回目	一般常識①
2回目	電話実習のための講義①		18回目	一般常識②
3回目	電話実習のための講義②		19回目	社会人基礎力チェック
4回目	電話実習のための講義③		20回目	メール作成の応用
5回目	冠婚葬祭について(結婚式のマナー)		21回目	Word操作応用①
6回目	冠婚葬祭について(葬式のマナー)		22回目	Word操作応用②
7回目	席次マナーと名刺交換		23回目	電話実習のための実践④
8回目	来客対応とお茶出し		24回目	電話実習のための実践⑤
9回目	メール作成の基本①		25回目	電話実習のための実践⑥
10回目	メール作成の基本②		26回目	
11回目	ビジネス文書(内部)①		27回目	
12回目	ビジネス文書(内部)②		28回目	
13回目	ビジネス文書(内部)演習		29回目	
14回目	ビジネス文書(外部)①		30回目	
15回目	ビジネス文書(外部)②		31回目	
16回目	ビジネス文書(外部)演習		32回目	
授業教材等:	個人用ノートパソコン等			

講義名:	卒業制作Ⅱ	講義時間数:30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	卒業制作の発表をもって単位を認定する。			
講義概要:	学校生活を振り返り、自身の成長や挫折、学びについて考えプレゼンテーションする。			
到達目標:	今ある環境を肯定的に受け入れ、周囲への感謝の気持ちをもつ。 自己肯定感、自己効力感を高める。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	学校生活の振り返り①			
2回目	学校生活の振り返り②			
3回目	学校生活の振り返り③			
4回目	卒業制作①			
5回目	卒業制作②			
6回目	卒業制作③			
7回目	卒業制作④			
8回目	卒業制作⑤			
9回目	卒業制作⑥			
10回目	卒業制作⑦			
11回目	卒業制作⑧			
12回目	卒業制作⑨			
13回目	卒業制作⑩			
14回目	卒業制作発表①			
15回目	卒業制作発表②			
16回目	卒業制作発表③			
授業教材等:	個人用ノートパソコン			

講義名:	パソコン基礎	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	横田 悟	単位数: 1単位	学年: 2年	
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	授業・単位認定課題共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。			
講義概要:	Excelの基礎的な機能を使用した課題で、スキルを高める 講義開始10分間はタイピング入力練習を行い、作業スピードの向上を図る。			
到達目標:	Excelの基礎的な操作を覚え、活用できる			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	タイピング練習、Excel基礎 47都道府県リスト作成(グラフ作成まで)			
2回目	タイピング練習、Excel基礎 基礎的な関数(SUM・AVERAGE, COUNT、TODAY等)			
3回目	タイピング練習、Excel基礎 基礎的な関数(SUMIF, AVERAGEIF, COUNTIF等)			
4回目	タイピング練習、Excel基礎 基礎的な関数(IF関数)			
5回目	タイピング練習、Excel基礎 基礎的な関数(IF関数・条件付き書式)			
6回目	タイピング練習、Excel課題Ⅰ メール添付・本文の構成			
7回目	タイピング練習、Excel課題Ⅱ			
8回目	タイピング練習、Excel課題Ⅲ			
9回目	単位認定課題作成			
10回目	単位認定課題作成・提出			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	個人用ノートパソコン			

講義名:	パソコン発展	講義時間数:30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 2年	
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: パソコン教室 勤務歴3年	
追試験実施:	無			
備考:	授業・単位認定課題共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。			
講義概要:	Excelのより実践的な内容を学ぶ。 講義開始10分間はタイピング入力練習を行い、作業スピードの向上を図る。			
到達目標:	Excelのより実践的な操作を学び、それを活かすことができる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	タイピング練習、Excel応用 絶対参照、相対参照			
2回目	タイピング練習、Excel応用 条件付き書式			
3回目	タイピング練習、Excel応用 データの入力規則			
4回目	タイピング練習、Excel応用 IF, AND, OR			
5回目	タイピング練習、Excel応用 SUMIF, COUNTIF			
6回目	タイピング練習、Excel応用 VLOOKUP			
7回目	タイピング練習、Excel応用 テーブル			
8回目	タイピング練習、Excel応用 複合グラフ、グラフ書式設定			
9回目	タイピング練習、Excel応用 ページ設定			
10回目	単位認定課題作成			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	個人用ノートパソコン			

講義名:	ITパスポート	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	種村 誠	単位数: 1単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	授業中は、基本的に座学・講義形式で行う。			
講義概要:	国家資格「ITパスポート」の基本テキストに沿って、資格取得に向けた勉学に取り組む。			
到達目標:	ITパスポート資格試験への受験が臨めるよう講義時間内で大まかな範囲をカバーする。 在学中に受験まで到達できなくても、社会人としてPCスキルを活かせるよう知識の定着を図る。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション			
2回目	ITパスポート講義①			
3回目	ITパスポート講義②			
4回目	ITパスポート講義③			
5回目	ITパスポート講義④			
6回目	ITパスポート模擬試験実施①			
7回目	ITパスポート模擬試験実施②			
8回目	ITパスポート模擬試験実施③			
9回目	単位認定試験対策			
10回目	単位認定試験			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	TKPⅡ-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業			
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。			
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	フィールドワーク			
2回目	フィールドワーク			
3回目	フィールドワーク			
4回目	業界研究・プレゼン資料作成			
5回目	業界研究・プレゼン資料作成			
6回目	業界研究・プレゼン資料作成			
7回目	中間発表			
8回目	中間発表			
9回目	ボランティア活動			
10回目	ボランティア活動			
11回目	ボランティア活動			
12回目	業界研究・プレゼン資料作成			
13回目	業界研究・プレゼン資料作成			
14回目	最終発表			
15回目	最終発表			
16回目				
授業教材等:	オリジナルテキスト			

講義名:	業界研究Ⅱ-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。 認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。			
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。			
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択			
2回目	活動計画書の作成			
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
13回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成			
14回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成			
15回目	最終発表			
16回目				
授業教材等:				

講義名:	体育Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 2年	
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター 勤務歴4年	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	・生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力, 知識などを身に付ける。			
到達目標:	・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	施設を利用して体力向上を図る			
授業教材等:	体育館、ミライアス			